

◇「ビオトープ作り」

新世紀松崎三聖塾 4泊5日の宿泊体験学習のメインとなるのが3日目の「ビオトープ作り」である。1日かけて生き物の生育しやすい環境作りを行う。この活動には、三聖塾塾生、中川コミュニティのみなさん、三聖塾教職員ボランティアのみなさん、松崎中学校ホタルボランティアのみなさん、松崎ジュニアボランティアクラブのみなさん、松崎町社会教育委員ボランティアのみなさんが携わる。

基本的にはそれぞれの分担の仕事を進めるわけだが、小学生の三聖塾塾生には無理な部分をホタルボランティア・中川コミュニティのみなさんが、教職員ボランティア・松崎ジュニアボランティアクラブのみなさんは三聖塾塾生が担当するところで一緒に活動を進めてくれる。社会教育委員ボランティアのみなさんは、公民館で昼食作りを行ってくれる。朝から準備し、100人分のおにぎりを作ってくれる。

今年度は、中川地区明伏の山でビオトープ作りを行った。下草を刈り、木の枝を伐採し、土をならして平らにし、必要に応じて石を組んだりくいを打ち込んだりしながら道を作る。三聖塾塾生はスコップ、鍬などを使って池を作った。スコップで穴を掘っていくわけだが、木の根や岩が出てきてなかなか思うようには進まない。全員が協力して池を作っていく。

お昼には社会教育委員ボランティアのみなさんが作ってくれたおにぎりを参加者全員でいただく。汗まみれ、土まみれになってしまうが、そこでいただくおにぎり、漬物は特別においしく感じる。

ホタルボランティアのみなさんが整備してくれた水路に水が通る。池に水が到着。三聖塾塾生たちは歓声を上げて大喜び。「来年ホタルがたくさん見られるといいな」と願いながら、活動を終了した。

コーディネートの実際

新世紀松崎三聖塾「ビオトープ作り」に携わっている団体は以下のとおりである。

【新世紀松崎三聖塾】

町教委主催の青少年教育事業。町内小学校5年生対象。4泊5日の宿泊体験学習を行う。このプログラムの一つとして「ビオトープ作り」を行っている。

【教職員ボランティア】

三聖塾を実施するにあたり、プログラムの実施の補助、安全の確保等のために参加して下さっている町内小学校の教職員のみなさん。

【松崎中学校ホタルボランティア】

町内のホタルの保護を目的に通年活動を行っている。毎年20人程度の生徒が参加している。

【中川コミュニティ】

中川地区コミュニティづくり推進協議会。中川地区各地区区長、女性団体、老人団体等の地区の各種団体の代表者で構成。三聖塾の会場となる「道の駅花の三聖苑」は中川地区にあり、平成13年度の第1回からビオトープ作りでは塾生と一緒に活動して下さっている。

【松崎町ジュニアボランティアクラブ】

平成15年度から活動を行っている。町では、様々な体験の機会や地域の人との触れ合いの場を通して、豊かな心や思いやりの心をはぐくむと共に、身近な社会に主体的に貢献する能力を養うことを目的としている。また、ボランティア活動支援センターでは、子どもたちが取り組みやすいようにボランティア学習や体験の場を提供している。

【松崎町社会教育委員】

三聖塾は町の社会教育事業であるので、プログラム等について社会教育委員会で検討している。委員会の中で社会教育委員も何かしらの形で携わろうということで、第1回から昼食作りを担当している。

<今年度までの経緯>

「新世紀松崎三聖塾『ビオトープ作り』」は平成13年度から始まっており、17年度で5年目を迎えている事業である。

【松崎中学校ホタルボランティア】

「新世紀松崎三聖塾」を実施するに当たりプログラムを企画するときに、簡単にできてしまうことではなく、苦勞して作り上げるような活動を取り入れたいと考えた。そして、できるだけ多くの人が携わるような形にしたいという願いもあった。たまたま、松崎中学校のホタルボランティアが生き物の成育しやすい環境作りに取り組んでおり、夏休みのこのときに一緒に活動をさせてもらえないか相談した。ホタルボランティアとしても三聖塾塾生が加わることにより取り組む人数が多くなり、通常の数ではできないことにも取り組めるということで一緒に活動することになった。また、中学生が塾生（小学校5年生）を支援・指導することになることも期待するところだった。

【中川コミュニティ】

三聖塾の会場となる「道の駅花の三聖苑」は中川地区にある。三聖塾塾生とホタルボランティアの生徒が「ビオトープ作り」に取り組むわけだが、地域の大人の人にも加わっていただきたく中川コミュニティに協力をお願いをした。作業自体大人の力を借りたいということももちろんあったが、もう一つには地域の大人を巻き込みたいというねらいもあった。子どもたちだけが行っても大人が関心をもたなければ広がり期待できない。地域の大人に参加してもらい、関心をもってもらいたいと考えた。中川コミュニティには、中川地区の各区長がメンバーとして入っているのので、中川地区の大人への広がりも期待して中川コミュニティに協力をお願いした。

【教職員ボランティア】

三聖塾を実施するにあたり、プログラムの実施の補助や安全の確保等のために町内小中学校の先生方をお願いしている。計画の中から参加可能なプログラムに参加してもらっている。宿泊も含めてお願いしている。

【松崎町ジュニアボランティアクラブ】

松崎中学校・松崎高校の生徒を対象に、支援センターが活動の場を提供している。一つの活動の場として「三聖塾『ビオトープ作り』」を提供し、参加者を募っている。平成15年度から活動を行っている。

5年目を迎えた事業で「三聖塾」という言葉も知られるようになり、ビオトープ作りも毎年行うことようになってきている。しかし、ここに至るまでには苦労があった。那賀川でビオトープ作りに取り組んだときには、場所が河川になるため土木事務所の許可が必要だった。近くに住んでいる方々に説明をして理解を得るといことも行った。また、那賀川に作ったビオトープはせっかく作っても秋の台風で全て流されるということもあった。教職員ボランティアについても当初はなかなか理解を得ることができず、人数を確保するのが難しい状況もあった。

<平成17年度の取組>

ホテルボランティアの活動を行っている指導者に平成17年度も三聖塾でビオトープ作りをお願いした。場所については前年度行った場所の隣で行うことを指導者が設定してくれた。必要な材料や道具、今年はどのような作業を行うか等打ち合わせをし、準備をした。

中川コミュニティのみなさんは、年間の活動の中に三聖塾への協力を位置付けてくださっている。会長さんに今年の日程と場所を伝え、協力をお願いした。前年は場所がうまく伝わっておらず、使用する道具と用意した道具が違っていて迷惑をかけてしまった。そのようなことがないように、日程・場所・作業内容等をしっかり伝えておく必要がある。

教職員ボランティアについては、三聖塾の計画ができた段階で募集をかけた。それぞれ都合に合わせて参加してくださるので、どうしても人数に偏りが出てきてしまう。調整をしてなるべく偏らないようにしたいのだが、難しいこともある。無理を言ってお願いすることもある。

ジュニアボランティアクラブには他の活動と同じように募集をかけた。毎年何人かの生徒が応募し、一緒に取り組んでくれている。

社会教育委員のみなさんも昨年同様、昼食のおにぎりを作ってくれた。100人分のおにぎりを用意してくれた。

今年も松崎の小学生・中学生・高校生・地域の大人が参加して「ビオトープ作り」が行われた。

<成果>

- ◇毎年ビオトープ作りを行った付近ではホテルが見られている。
- ◇小学生だけでなく、中学生・高校生・地域の大人が携わっての活動となっている。
- ◇5年続けてきていることにより、年間計画に位置付けてくださっているところもあるように、それぞれの団体で定着してきている。
- ◇宿泊体験学習「新世紀松崎三聖塾」の趣旨に沿った活動となっている。

<課題>

- ◇三聖塾の活動が7月下旬。ホテルの季節までだいぶ間があいてしまう。活動の成果を確認することができていない。何らかの方法で活動の成果を確認する場を設ける必要がある。

◇中川コミュニティの委員のみなさんには定着してきているが、中川地区の地域のみなさんに広がってきているかというところまでの広がりはまだ見られていない。もっと地域のみなさんに知ってもらう方法を講じたいと思う。

◇広報等を通じて、活動について広く町の皆さんに知ってもらうとともに、理解してくれる人・協力してくれる人を増やし、もっと多くの人がかかわる活動にしていきたいと考えている。



ビオトープづくり



ビオトープ完成

執筆者職・氏名：静岡県賀茂郡松崎町教育委員会社会教育係

社会教育専門員 山田 祐樹